

2004 年度 学長裁量経費（プロジェクト経費）実施報告書

テーマ	附属学校園のスクールカウンセラーによる相談活動に関する研究		
代表者及び共同研究者名 (代表者に○印)	氏名	所属部局講座等	役割分担
	○ 安武 知子	校長	総括
	伊串 博	副校長	〃
	後藤 信英	教頭	指導計画作成
	大津 正仁	総務	〃
	丹羽 広重	生徒指導主事	〃
	渡邊 恭子	養護教諭	養護教諭との役割研究
	岸 良範	教育臨床学講座	相談活動の指導
	原口 芳明	学校教育講座	相談活動の指導・助言
研究成果の概要			
1 活動状況			
<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度は週1回程度、カウンセリング及びコンサルテーションを実施した。 平成17年度は毎週金曜日にカウンセリング及びコンサルテーションを実施しているほか、5/24～5/27には宿泊行事に同行しながら、カウンセリングを実施した。 「コンサルテーション」とは、問題を引き起こしている生徒に対して教師側の対応について、カウンセラーが情報提供やアドバイスをし、一緒に今後の方針や方策について考えていくこと。 「心の健康推進連絡会議」を2回実施した。 <第1回>平成17年10月17日(月) 17:20～18:20 全教員参加 事例報告に関する、意見交換や質疑応答についての指導助言。 <第2回>平成17年12月5日(月) 17:15～18:15 全教員参加 事例についての意見交換・質疑応答についての指導助言 発達障害の子どもに対する接し方等 			
2 成果			
<ul style="list-style-type: none"> カウンセリングルームを常設し、常時活動の場所を確保した。 校内現職教育（心の健康推進連絡会議）を実施したことによって、発達障害や問題行動に関する見方・考え方が深まった。 			
3 今後の課題			
<ul style="list-style-type: none"> 教員（特に該当の担任）とカウンセラーの情報交換の時間の充実。 カウンセリングルームの備品の充実 （例：箱庭療法のための用具） 			